

令和6年運営推進会議報告書（第17回）

- 事業所名称： オレンジハウス
- サービス種類： 認知症対応型通所介護
- 会議開催日： 令和6年 7月 5日 14：00～15：00
- 開催場所： ふれあい家族の家会議室
- 出席者： 事業所：2名
地域代表者：2名
利用者家族代表：2名
包括支援センター：1名

【基本理念】

私たちは、利用者と共にふれあい、そして地域の中で自分らしく安心して生活が送れるようお手伝いします。

- 残存機能を把握し、維持向上に努めます。
- 利用者の個性性を重視した介護を行います。

【議事】

1.利用者状況報告

要介護度別利用者数

	12月		1月		2月		3月		4月		5月	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
要支援1	1	2	0	0	0	0	1	3	1	4	1	4
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	4	46	4	46	5	58	4	52	4	41	5	56
要介護2	6	70	7	76	7	71	8	92	7	74	6	80
要介護3	2	39	2	17	1	13	2	14	3	25	3	28
要介護4	1	8	1	8	1	9	1	10	1	11	1	13
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	14	165	14	147	14	151	16	171	16	155	16	181

年齢別利用者数（登録人数）

	12月	1月	2月	3月	4月	5月
60～69歳	0	0	0	0	0	0
70～79歳	1	1	1	2	2	2
80～89歳	10	9	8	8	7	8
90～99歳	3	4	5	6	7	6
100歳以上	0	0	0	0	0	0
合計	14	14	14	16	16	16

地域別利用者数（登録人数）

	12月	1月	2月	3月	4月	5月
小川町	8	8	8	10	10	10
松橋町	4	4	4	4	4	4
不知火町	0	0	0	0	0	0

豊野町	2	2	2	2	2	2
三角町	0	0	0	0	0	0

4月別平均利用利用率（稼働人数）

	12月	1月	2月	3月	4月	5月
定員（名）	260	240	250	260	260	270
延人数（名）	165	142	151	171	155	181
利用率（％）	63.4	61.2	60.4	65.7	59.6	67.0

利用実績（令和5年6月～令和5年11月）

- ①平均利用率 62.8% （前回 78.7%）
- ②新規利用者数 4名
- ③利用終了者数 3名 （特養入所 2名、老健入所 1名）
- ④平均利用回数 1名につき 2.81回/週（前回 3.31回）
- ⑤平均介護度 1.93 （男性：2.38、女性：1.89）
- ⑥平均年齢 87.3才 （男性85.0才、女性87.5才）

職員勤務状況

○職員総数 5 名 （管理者・生活相談員兼務1名含む）

○有資格者（※有資格重複含む）

- * 介護支援専門員 1名
- * 介護福祉士 3名
- * 看護師 1名
- * 准看護師 1名

オレンジハウスの今年度の利用率は、目標85%に対し、大幅に低い達成率でした。

原因として、一つはインフルエンザ、新型コロナウイルス感染後の入院及び自宅療養のため、複数名が数週間ずつの長期欠席となったこと。

もう一つは週6日利用の方、複数名が終了になったことなどの影響が大きかったと言えます。

感染症に関しては、利用者から職員へ、職員から利用者へと、広がってしまい、感染予防の欠席者を出すなど、非感染者の方にもご迷惑をおかけしてしまいました。

こういった非常時にも、必要なサービスの提供が継続できるように、今年度より、感染症及び自然災害における業務継続計画（BCP）の策定が各事業所ごとに義務付けられています。

このBCPに基づき、勉強会や訓練を実施しながら、通常時からの備えを行い、安心してオレンジハウス利用をしていただけるよう努めていきます。

2. 意見交換

*（各事業所の活動報告を見て）南部田地域でも、100歳体操や脳トレなどの活動をやっているが、好き好きが分かれるようである。無理のないようにできるところまでやってもらうようにしている。女性ばかりの参加である。（民生委員）

*母が（通所介護を）利用するようになって初めて色々知ることができた。（利用者家族代表）

*100歳体操やそのほか、知らなくて参加していない人も多いと思う。

*Q.制度を上手に活用してほしいと思うが、宇城市ではどのように広報しているか？（管理者）

A.今年度、介護保険の改定があったので、新制度の新しいパンフレットを、7月末ごろに配布を始める予定である。どんな介護サービスがあるか、なども記載している。

（包括支援センター）

*行政のパンフレットは、家族会や新規利用者、飛び込み営業などで配布している。（管理者）

*Q.現在、兄はGHに入所中だが、もう一人介護中で、デイサービスを利用している。

(利用者家族代表)

ショートステイを利用したいと思うが、デイに行っていて、ショートに行けるのか？

わからないし、迷っている。

*A.限度額内で調整が必要かもしれないが、利用できます。①認知症があること ②宇城市在住であること、など規程はあります。居宅支援事業所や包括支援センター、行政などに相談してみてください。(管理者)

*ショートステイのことを相談すると、特養を勧められる。(利用者家族代表)

*特養や老健を利用する方が多いが、グループホームも利用できます。(管理者)

*ちょっとでも、3日くらいでも預かってもらえば助かる。今は仕事もしているので、デイに預かってもらっても、4時には帰らければ、という負担もあるし、夜も動けない。

(利用者家族代表)

*入居やショートステイを利用すれば、安全を担保できる。

地震のあと、地域の方から「手伝いに来ようか？」と声をかけていただいたときは、とてもうれしかった。(管理者)

*地震の後は、実際どんな状況だったのか？(利用者家族代表)

*熊本地震は、法人の花見を行い、解散した後のことだった。地震直後にスタッフを招集して、レイアウトを変えたりなどの対応をした。水道や電気が止まらなかったことや、イオンがすぐ開いて食料の調達ができたため助かった。しかし、スタッフも被災し、休む者もいた。地域の方の避難者受け入れ要請等はなかった。(管理者)

*新型コロナの流行も、大変だったのでは？2020年から兄が入居し、以前は直接会っていたのが、ここに来てから会えていない。中に入れないので、どんな生活をしているのか見てみたい、と願っている。(利用者家族代表)

*コロナ禍以降は、中に入れずにタブレットでの面会もあり、家族に会えないまま亡くなった方もいる。解放しているの施設もあるが、多くの施設はまだ制限している。(管理者)

5.消防訓練訓練（地震を想定とした訓練）

今回、初めて地震を想定とした訓練を行った。

スタッフ、各ユニット3人ずつの想定。

水害について、以前は浸からない区域となっていたが今回は少し浸かる想定。

(感想)

身近な衣類で頭を防いだのは良かった。

利用者への訓練予告について、充分に行っていたが忘れられていた様子。

平屋なのでスムーズに行えた。

(検討)

電動ベッドにキャスターがないので、今後キャスター付き検討

夜間災害時の対応についての再確認

利用者に不安を与えないように、事前の準備が必要である。

3.水害時想定の上訓練施行

デイサービスの場合は避難誘導と同時に、自宅に送るか、家族に引き渡すかのどちらを優先するかの判断が必要になると思われる。

その為、各利用者の自宅までの道路状況など、把握できる環境を整える必要がある。